

第9回 (2010. 10/2・3)

新たな会場として天神中央公園ステージを新設、この日ために結成されたバンドTHE ONE NIGHTには全国から観客が集まった。加えてクラムボンらが沸かせた市役所前ドコモステージ、にほんの唱歌・童謡を歌い継ぐプロジェクトとのコラボを行った警固公園ステージと合わせ、3つのメインステージ制となった。両日とも雨模様にもかかわらず前年を上回る過去最高の13万人を動員した。

主な出演アーティスト：clammbon、Small Circle of Friends、おおはた雄一、カジヒデキ、SISTER JET、IMALU、THE ONE NIGHTS(梶浦雅裕、池畑潤二、渡辺圭一、チバユウスケ、百々和宏、佐藤タイジ、大江慎也)、青柳拓次、伊藤ゴロー、ASA-CHANG×ううじん、にほんのうた楽団(小池光子、高田漣、ASA-CHANG、鈴木正人)、キセル、イルリメ、やけのはら+ドリアン、、カラーボトル、竹中絵里、甲斐よしひろ、Geoff Muldaur & Amos Garrett (ほか(順不同))



第10回 (2011. 10/1・2)

記念すべき10回目は新しくなった博多駅前広場も含め、全28会場44イベントを実施。観客動員も15万5千人と動員記録を更新した。またMCTゆかりのアーティストらによる10周年記念ライブとして福岡サンパレスホテル&ホールで2日間開催したほか、警固公園では東日本大震災復興支援イベントを実施、募金活動を行った。

主な出演アーティスト：STARDUST REVUE、SING LIKE TALKING、Skoop On Somebody、大貫妙子、THE BEATNIKS（高橋幸宏+鈴木慶一）、土岐麻子、甲斐よしひろ、風味堂、三浦大知、中田裕二、高橋優、箭内道彦、渡辺俊美（TOKYO NO.1 SOUL SET）、富澤タクa.k.a遅刻(グループ魂)、向井秀徳アコースティック&エレクトリック、七尾旅人、青葉市子、D.W.ニコルズ、THE ONE NIGHTS(梶浦雅裕、池畑潤二、渡辺圭一、川西幸一、佐藤タイジ、百々和宏) 高野寛、浜崎貴司、曾我部恵一、おおはた雄一、キセル、イルリメ、YOU SONG IS GOOD、植松伸夫、ヤン富田（ほか（順不同））

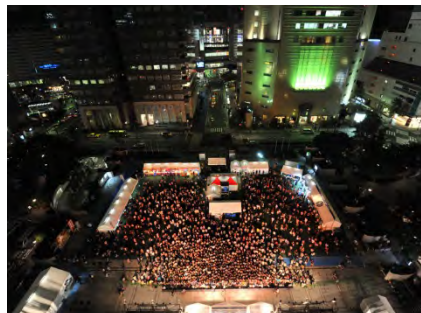


第11回 (2012. 9/29、30)

今まで2日間のみで開催だったが、今回初の試みとして9月の1か月間を「ミュージックシティマンス」とし、毎週末に天神の街角で無料のストリートライブを敢行した。

本開催当日はおりからの台風による悪天候が心配されたが大きな影響もなく無事開催、プロアマ総勢368組のアーティストが市内36会場で熱いパフォーマンスを繰り広げ、約10万人の観客動員を果たした。

主な出演アーティスト：HOMEMADE家族、CODE-V、A.F.R.O、Kainatsu、田島貴男 (ORIGINAL LOVE)、手島葵、Oreskaband、FUNKIST、キセル、(((さらうんど)))、高田蓮、高野寛+伊藤大助、畠山美由紀、小池龍平、アナログフィッシュ、石橋英子withもう死んだ人たち、ゆーきゃん、ジム・オルーク、青葉市子、家入レオ、かりゆし55、LA CARAVANE PASSE (ほか (順不同))



第12回 (2013.9/28、9/29)

この年も9月後半を「ミュージックシティマンス」とし、週末に天神の街角で無料のストリートライブを敢行、アマチュアの出演者をポスターに起用するなど連携を図った。また、福岡出身で世界的に活躍する写真家鋤田正義氏の写真展とコレボし、イムズ・パルコ会場とMCT各会場を結ぶと同時に、メイン会場に出演した福岡出身のアーティスト黒木渚を氏が撮り下したポスターを制作するなど、立体的な展開を行った。会期を通してプロアマ総勢261組のアーティストが市内32会場、約11万3千人の観客動員を記録した。

主な出演アーティスト：怒髪天、黒木渚、森恵、竹本洋介、片平里菜、山崎あおい、THEイナズマ戦隊、kainatsu、GOLD RUSH、Metis、UNIST、藤原道山、唄人羽、井手綾香、寺尾沙穂、在日ファンク、MAY's、亀田誠治 ほか（順不同）

